



感染者の動向

累計感染者数		812,960人	
累計死者	累計回復者	新規感染 (週平均)	新規感染 傾向
12,869人	753,240人	1,774人	微増傾向

6月7日現在の数字 ※出所：バングラデシュ伝染病研究所



日本・海外からの入国制限

日本人の入国	可
外務省渡航情報	
レベル3：渡航は止めてください。 (渡航中止勧告)	
制限措置・入境後の隔離措置等の概要	
<u>自宅等での14日間の自己隔離が必須</u>	

入国制限措置については外務省海外安全ホームページを参照。

行動・活動制限の状況

以下のURLを参照。

https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/#page_01

空港再開／直行便

空港	国際線の一部利用可能
日本からの直行便	
カタール、スリランカ等経由にて往来可能。	
臨時便・特別便	
・シンガポール政府およびUAE政府の規制により、バングラデシュから両国への入国やトランジット利用は不可。またマレーシア政府によるバングラデシュからの入国の規制により、両国間のフライトがキャンセルされているもよう。 <u>※入国規制やフライトスケジュールが頻繁に変更されており、渡航の都度、最新の報道や航空会社への確認が必要</u>	



現地政府による主な経済対策

主要経済指標	
上半期（7～1月）輸出額 (前年同期比)	工業指数 (前年同月比)
-1.09%	6.6% (2020年9月)
新規の経済対策	
概要	
特段なし	

その他の経済対策および事業者支援策等は以下のURLを参照。

https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/asia/#page_bd

経済活動の状況

経済活動制限
現状の制限や規制
<ul style="list-style-type: none">新型コロナの予防接種（2回目）が4月8日より開始。また5月25日より、1回目のワクチン接種が一部再開。<u>ロックダウン措置が6月16日まで延長</u>。原則外出禁止だが、全ての店舗は午前10時～午後8時まで営業可。工場稼働・従業員の移動手段確保は可能。県境を越える公共交通機関や、レストランの店内飲食提供は、定員の半数までを条件に運行・営業可能。
企業活動における状況と課題
日系企業
<ul style="list-style-type: none">ロックダウン下でも多くの日系企業は操業を継続。多くの日系企業の駐在員が再渡航を行っているが、バングラデシュにおいてコロナウイルスの感染対策が大きな課題となっている。バングラデシュにおいて邦人が感染する事例もあり、感染時の医療体制についても、日系企業にとって懸念事項の一つとなっている。現状の罹患時の対応策としては、日本人駐在員が利用することが多い病院での入院や自宅療養などが見られる。出国時には、<u>出発72時間以内に政府指定機関にて実施した、PCR陰性証明書</u>の提出等の取得を行う必要がある。
現地・第三国企業
<ul style="list-style-type: none">ほぼすべてのオフィスや事業所は営業を再開しているが、在宅勤務の導入、時差出勤・分散出勤の運営を行っている企業もある。